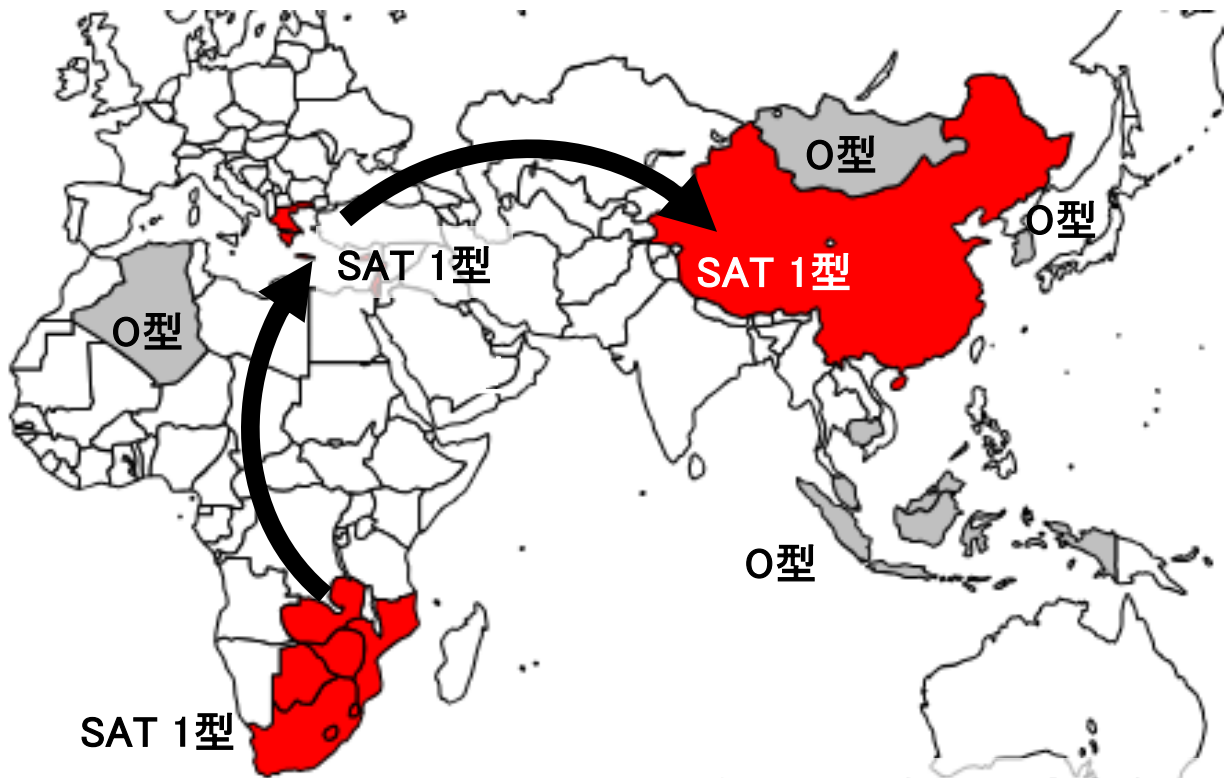


アフリカ由来の口蹄疫が東アジアに迫っています

口蹄疫ウイルスには7つの血清型があります。血清型が異なると免疫やワクチンは効果がありません。

- ◆現在、東アジアに迫っているSAT 1型は、中国、韓国、日本では、これまで発生を経験したことのない血清型です。
- ◆SAT 1型口蹄疫は現在、アフリカ → 中東 → 中国へと発生地域を拡大しています。



2026年1月以降の口蹄疫海外発生

もし日本国内に侵入し、発生したら、何が起きるのか

- ◆日本の清浄国ステータス喪失、畜産物の輸出停止、広範囲な家畜・車両の移動制限
- ◆大規模な殺処分、復旧まで2年以上かかる可能性がある。
- ◆2010年宮崎県で発生した時を上回る影響が想定される。

偶蹄類家畜の飼養者が心掛けることは

① 農場に「持ち込まない」

ウイルス侵入を防ぐことが最大の防御です関係者以外の立ち入りを制限

【人】農場専用長靴への履き替え、
手指・靴底の消毒

【車両】タイヤ・下回りの消毒を徹底



② 毎日、家畜をよく観察する

早期発見が被害拡大を防ぎます

次のような症状がないか、毎日確認
足を引きずる(跛行)

よだれが多い

口・鼻・蹄に水疱やただれ

1頭でも異常を見つけたら、即連絡



③ 海外との接点に特に注意

海外渡航後は、一定期間農場に入らない

従業員にも衛生対策を注意喚起

海外由来の肉製品・食品・郵便物を
農場内に持ち込まない



- ◆ 異常を見つけたら、迷わず、直ちに家畜保健衛生所へ連絡してください。
- ◆ 迷う時間が、被害を広げます。
- ◆ 早期通報が、地域全体を守ります

あなたの行動が、
地域・京都府・そして日本の畜産を守ります